

公式ワナゲの用具について (日本ワナゲ協会公認の用具を使用)

台(ワナゲ台) 木製60cm×60cmの白地、上段左より4・9・2、中段左より3・5・7、下段左より8・1・6の数字を茶色で印したもの。
各数字の上には得点棒を固定し、
台裏には傾斜をつけるための脚2本をつける。傾斜角度は 20° ($\pm 1^{\circ}$)。

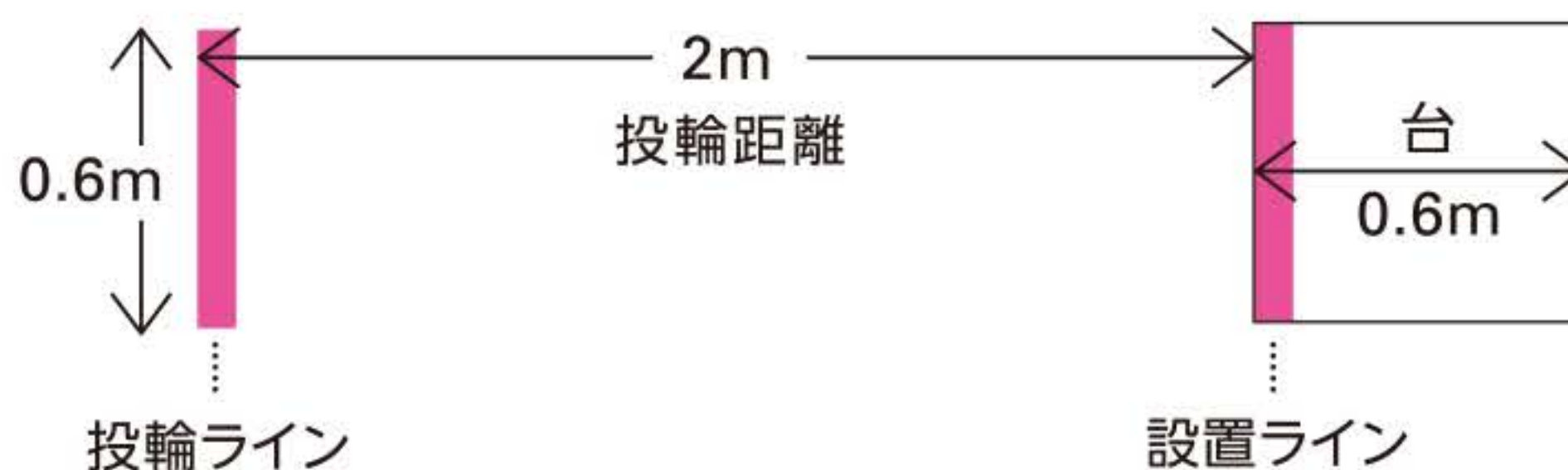
輪 赤色4本・黄色4本・青色1本の計9本。
ゴム製で外径17.0cm(± 1 mm)、
内径13.8cm(± 1 mm)、重量133g(± 3 g)。



場所・コート

屋外・室内を問わず、平坦な場所に台を設置し、図のように^{どうりん}投輪ラインと設置ラインを引く。
公式ルールでは、2mより投輪を行う。

但し、申し合わせにより、競技者の身体条件、技術レベルに応じて投輪距離を別に設定しても構わない。

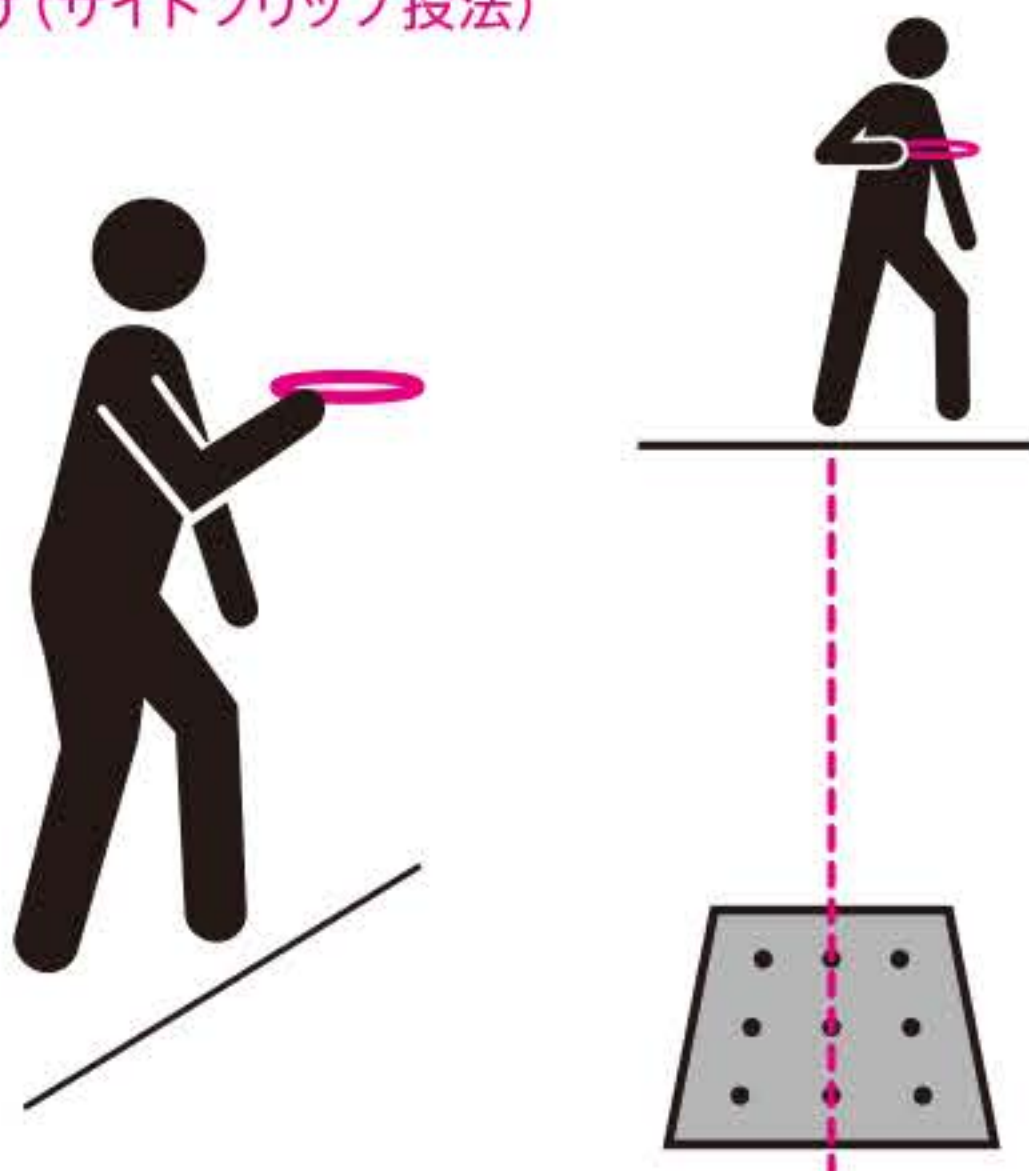


輪の投法について

横投げ(サイドフリップ投法)

輪を地面に対して平行に保ち、
足を前後に、肩幅よりもやや広くとり、
サイドスローで投げる方法。
この投法はコントロールが難しいが、バウンド(跳ね返り)
しにくいので、近距離に適している。

横投げ(サイドフリップ投法)



正面投げ(センターフリップ投法)

足を肩幅と同じ程度に開き、利き腕がワナゲ台の
中央部に向く形で、投輪ラインに沿って立つ
(利き腕側の足を一步引く姿勢をとるのもよい)。
次に、輪が地面に対して平行になるように突き出す。
そして、輪を持つ腕の力を抜いて後方に振り、
その反動で投げるアンダースロー投法である。
慣れると的中率が高いが、バウンドしやすい。

正面投げ(センターフリップ投法)

